

島谷市左衛門来島 350 周年記念事業部会 勉強会資料 (250428) 柏木一郎

1670 年 阿波の蜜柑船が難破して現在の母島に漂着

1675 年 幕命による島谷市左衛門の巡検→「無人島」の正式報告

19 世紀前中期 米国の捕鯨船が活発に活動（鯨油の採取）

船体の修理、物資の補給ができる島が必要 日本は鎖国で寄港できない。

天然の良港がある父島に着目 1853 年 ペリー来航 日本の開国

小笠原諸島の帰属問題 幕府による開拓 明治政府による開拓が始まる。

小笠原諸島は日本領であることを欧米諸国にアピール

日本領としてのアピール→1720 年代、小笠原貞任（自称）が幕府に文書を提出。

「1593 年 小笠原貞頼（貞任の曾祖父）が小笠原島を発見」→貞頼も文書も偽物

欧米諸国の認識 林子平「三国通覧図説」（1785～86）の翻訳 島谷市左衛門の巡検

→林子平により「無人島（小笠原島）」の存在が全世界に紹介される。「無人」→ブニ

ン→「Bonin」？ 無人島→「小笠原」島 発見者（架空）の名を命名。

幕末明治初年における小笠原帰属問題→島谷市左衛門の巡検が根拠となる。

小笠原諸島→日本領→日本の領海が定まる。